

技能評価システム移転促進事業 (SESPP)

事業実施報告書【ベトナム】

担当講師	稲川 文夫氏 (SESPP事務局技術顧問)
実施期間	2023年1月14日(土)～1月16日(月)
実施場所	ベトナム社会主義共和国 ホーチミン市 ミツバベトナム社工場
研修	技能評価トライアル (SET)
実施職種	機械検査 3 級

2023年2月

結果概要

1. 対象者数 SET 評価者数 9 名 / 受検者数 12 名 / 合格者数 6 名

2. 日程

日時	指導内容
1 月 14 日(土) 1 日目 8:30-16:30	【技能評価トライアル準備 (SET)】 ①実技試験実施方法及び運営上の留意点について ②評価チームの編成と役割分担 ③試験用機材のチェック ④必要な備品のチェック ⑤試験会場設営・機材の配列 ⑥正解値の求め方の練習
1 月 15 日(日) 2 日目 8:30-16:30	【技能評価トライアル (SET)】 8:30-8:45 開会式 8:50-9:50 学科試験 10:00-12:00 実技試験 (受検者: 6 人) 13:00-15:00 実技試験 (受検者: 6 人) 15:00-16:30 正解値測定
1 月 16 日(月) 3 日目 8:30-16:30	【技能評価トライアル (SET)】 ①正解値測定、減点評価シート作成 ②採点・評価、結果とりまとめ ③試験結果表作成 ④総括

3. 講評 (稲川講師)

- ①今回の機械検査 3 級の技能評価トライアルは、必要な機器、機材を企業の現場に持ち込んで実施するという初めての試みである。SHTP-TC のスタッフの熱意で、前日に必要な機材等を工場の現場に運び込んだことで、実にスムーズに実技試験の準備及び実施をすることができた。
また、工場の試験会場は、空調設備で温度管理されていて、室内温度は常に 23°C に維持され、機械検査(精密測定作業)には最適の環境であった。
- ②企業の現場に向いて SET を実施する方法は、SHTP-TC から遠く離れた工業団地にある企業にとっては、参加するためのハードルが低くなり、従業員を受検させやすくなる。このような出前型の SET は、参加企業を開拓する一つの方法であると思われる。
- ③今回の試験において、学科試験・実技試験とも合格ラインに達している者 6 名/12 名中(50%)おり、日本の技能検定 3 級の合格率(50~65%)と同程度である。学科試験については、8 名/12 名中(67%)が合格ラインに達しており、企業における受検対策指導が有効に機能していることがうかがえる。

4. アンケート結果

SET 【技能評価トライアル】

◆評価者 9 名 (回答者 9 名)

満足度：	大変満足=8人	満足=1人
役立ち度：	大変役立つ=7人	役立つ=2人
能力向上：	大変向上した=8人	向上した=1人
継続性：	是非継続すべき=8人	継続すべき=1人

【改善点・提案】

- ・何度も開催してほしい。
- ・ニヤチャンで試験を開催してほしい。
- ・日本での学習と評価の経験。(2)
- ・日本でのレビューに参加する。(2)
- ・採点方法を効率的に行うために、IT手法を用いる。
- ・SESPP 事業（モデル）を拡大する。企業内での実施機会を増やす。

【意見・感想・実施希望】

- ・日本で技能検定を体験したい。
- ・機械設備のメンテナンス - CNC マシン
- ・CNC フライス加工 (2)
- ・機械検査 2 級
- ・旋盤加工、フライス加工
- ・テストスキル
- ・CAD 製図 (2)
- ・CNC 旋盤
- ・機械設計と機械図面のプレゼンテーション。

◆受検者 12 名（回答者 12 名）

満足度：	大変満足=11人	満足=1人
役立ち度：	大変役立つ=12人	役立つ=0人
継続性：	是非継続すべき=11人	継続すべき=1人

【改善点・提案】

- ・実施場所を特化して欲しい。
- ・機械検査 2 級を実施する。
- ・より多くの従業員に広めたい。
- ・測定者の高さの測定台。
- ・今後もこのような活動に参加できることを楽しみにしている。

【意見・感想・実施希望】

- ・機械加工 3 級
- ・QC の検定
- ・品質管理
- ・とても良いと思う。
- ・測定
- ・機械検査
- ・工場の品質管理
- ・測定スキル

◆現地責任者 1 名（回答者 1 名）

継続性： 是非継続すべき=1 人 継続すべき=0 人

【改善点・提案】

- ・可能であれば年末時期（テト前）は避けてほしい。

【意見・感想・実施希望】

- ・機械検査 2 級、機械製図、シーケンス制御を実施してほしい。